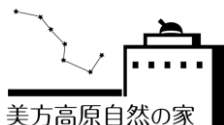




尼崎市教職員組合：尼崎市西長洲町2-34-1  
 執行委員長 中川 純一  
 TEL 06-6481-1133 FAX 06-6481-9520  
 ホームページ <http://amakyoso.wix.com/amakyoso>  
 E-mail amakyoso@s5.dion.ne.jp

相談・質問は、  
**尼教組へ**  
 \*LINEで  
 連絡してく  
 ださい。

# 尼崎の自然学校には、 指導員がいません！？



小学校5年生の自然学校、コロナが収まったとして以前の4泊5日に戻っています。教員の大きな負担になる自然学校。昨年、市内小学校は2泊3日で行いました。コロナ下でそれぞれの学校が、子どもたちに何が必要か、何をすべきかを一生懸命考えて実施しました。その結果、2泊3日でも充実した活動ができたとの声を多く聞きます。しかしながら、市教委は「県の事業」を理由に、4泊5日実施にこだわっています。

膨大な準備はもちろん、現地での行事指導や生活指導など過剰な労力を要します。市内41全小学校は、美方高原自然の家（とちのき村）で自然学校を行っています。とちのき村には指導員が配置されていません。（施設の指定管理者は【日本アウトワード・バウンド協会】）兵庫県教委の実施要項には「教員の外に指導員を置く」とあります。尼教組はこの点について市教委を問いただすと、

「美方高原自然の家の自然学校においては指導員を配置しておりませんが、学校が安心して自然学校を実施できるよう、美方高原自然の家の職員には、プログラムの計画・進行や指導補助員への指導・指示を依頼しております。」と回答しました。

県が言うとおりの4泊5日を実施しながら、指導員の配置は県の指示には従わないという態度はいかがなものでしょう。

今年、市内小学校ではインフルエンザが現地で流行し、保護者に迎えに来てもらったり、別室で最終日まで隔離を続けた事例がありました。（帰校後、感染拡大のため学年閉鎖に）2泊3日なら子どもたちの負担も大きく軽減できたでしょう。

今こそ、自然学校のあり方そのものを考え直す時ではないでしょうか。

### 自然学校推進事業実施要項（県教委発行）

#### 6 指導補助員等

(1) 自然学校の効果的な実施を図るため、教員の外に体験活動の指導に当たる指導員、その補助に当たる指導補助員及び救急員を置くものとする。

#### 7 教員の勤務について

(1) 教員が引率指導業務に従事する期間は、原則として2泊3日までとすること。また、特別な家庭事情のある教員については、日帰りも含めて弾力的に対処すること。

## 尼崎市長、3年間で50億円の集中投資 「子ども・子育てアクションプラン」を提案

松本市長が11月末に提案した「子ども・子育てアクションプラン」には、学校教育についても提案がありました。「トイレの洋式化」「SSWの増員」など、尼教組執行部が夏に市長と懇談したことがらも含まれています。これから、議論され議会に提案されていく予定です。（詳しくは市HPを）

 **人事異動などで困ったら  
尼教組へご相談ください**  
 \*電話かLINE（右上）で。

### Ⅲ 安心をサポート！（安心安全な学校）



#### ■ 学校環境の整備・充実

児童生徒が安心した学校生活を送ることができるよう**トイレの洋式化**等学校環境の整備を加速します。



#### ■ 不登校の児童生徒の支援施策の拡充

不登校の児童生徒のための「**学びの多様化学校**」を設置するとともに、全小中学校に**校内の居場所**を整備します。

#### ■ スクールロイヤーの設置 R6実施

学校でのいじめなどの諸問題に迅速に対応できるよう弁護士を**スクールロイヤー**として配置します。



#### ■ スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置

学校における福祉的な課題に対応するため、**全市立中学校区に1名のスクールソーシャルワーカー**を配置します。